

科目名	研究指導	科目コード	8114	単位数	2
担当者名	田村 亨	開講時期	1 後	開講年次	1年次

● 授業の到達目標及びテーマ

研究テーマ及び研究内容を検討し、博士論文の作成に繋がる「研究計画」を作成する。以上をとおして、習得した知識および技能により、自ら課題を発見し解決できるようになる。

● 授業の概要

対象分野における学生の問題意識の抽出、文献調査、有用性・新規性・独創性に関する検証を経て、研究テーマを設定する。大まかな骨子を組み立てた後、研究計画を作成させる。「研究報告会」でその段階における成果を発表させ、討議内容に基づき研究内容・研究計画を再検討する。

● 授業計画

- 1週目 問題・関心の明確化を行う。対象分野における学生の問題意識の抽出を目的とした意見交換を行う。主要な参考文献を指示する。
- 2週目 問題・関心の明確化を行う。対象分野における学生の問題意識の抽出を目的とした意見交換を行う。主要な参考文献を指示する。
- 3週目 問題・関心の明確化を行う。対象分野における学生の問題意識の抽出を目的とした意見交換を行う。主要な参考文献を指示する。
- 4週目 問題・関心の明確化を行う。対象分野における学生の問題意識の抽出を目的とした意見交換を行う。主要な参考文献を指示する。
- 5週目 研究テーマを設定し、文献調査に基づき研究テーマの有用性・新規性・独創性を検証する。これを繰り返し、最終的な研究テーマを設定する。この段階では、論文執筆の意義を絶えず意識するよう指導する。
- 6週目 研究テーマを設定し、文献調査に基づき研究テーマの有用性・新規性・独創性を検証する。これを繰り返し、最終的な研究テーマを設定する。この段階では、論文執筆の意義を絶えず意識するよう指導する。
- 7週目 研究テーマを設定し、文献調査に基づき研究テーマの有用性・新規性・独創性を検証する。これを繰り返し、最終的な研究テーマを設定する。この段階では、論文執筆の意義を絶えず意識するよう指導する。
- 8週目 研究テーマを設定し、文献調査に基づき研究テーマの有用性・新規性・独創性を検証する。これを繰り返し、最終的な研究テーマを設定する。この段階では、論文執筆の意義を絶えず意識するよう指導する。
- 9週目 これまでの文献調査に基づき、研究テーマ、背景、目的などを整理する。大まかな骨子を組み立て、これに基づき「研究計画」を立案する。立案プロセスを通じ「研究計画」の立案方法を指導する。
- 10週目 これまでの文献調査に基づき、研究テーマ、背景、目的などを整理する。大まかな骨子を組み立て、これに基づき「研究計画」を立案する。立案プロセスを通じ「研究計画」の立案方法を指導する。
- 11週目 これまでの文献調査に基づき、研究テーマ、背景、目的などを整理する。大まかな骨子を組み立て、これに基づき「研究計画」を立案する。立案プロセスを通じ「研究計画」の立案方法を指導する。
- 12週目 「研究報告会」で用いる発表資料を作成する。発表練習などを通して、発表資料の作成方法、発表方法、質疑応答などに関する指導を行う。「研究報告会」でこれまでに整理した内容を発表し、担当教員、学生同士で討議する。5,000文字程度のサマリーを提出させる。
- 13週目 「研究報告会」で用いる発表資料を作成する。発表練習などを通して、発表資料の作成方法、発表方法、質疑応答などに関する指導を行う。「研究報告会」でこれまでに整理した内容を発表し、担当教員、学生同士で討議する。5,000文字程度のサマリーを提出させる。
- 14週目 「研究報告会」での討議に基づき研究内容を整理し、骨子と研究計画を再構築する。
- 15週目 「研究報告会」での討議に基づき研究内容を整理し、骨子と研究計画を再構築する。
- 16週目 「研究報告会」での討議に基づき研究内容を整理し、骨子と研究計画を再構築する。

● テキスト

テキスト特になし

● 参考書・参考資料等

研究テーマに即した参考資料をテキストとして適宜用いる。参考書・参考資料等研究テーマに即した参考資料を適宜紹介する。

● 成績評価の方法・基準

成績評価の方法・基準研究会報告での発表や指導過程での成果に基づいて総合的に判断する

● 更新日付

2022/01/19 11:01